

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

「授業」から「学び」へ

校長 香西雅斗

台風の通過と共に秋が深まり、科学と自然の散歩みちだけでなく街のあちらこちらで紅葉が始まっています。一方台風の被害は日ごとにその甚大さが明らかになっており、被災地の一刻も早い復興を心から祈念します。

さて、表題の“「授業」から「学び」へ”は、10年以上前から言われている「教える授業」「習う授業」から「主体的・探究的な学び」「学び合い」への転換を略したフレーズです。

このフレーズを強く意識したのは、今年の修学旅行の新幹線の中での生徒たちの様子がきっかけでした。例年、行き帰りの新幹線ではトランプやウノをやっている生徒が多いのですが、今年は8～9人でグループを作り、司会者（立候補）の指示で、目を閉じて頭を下げたり、顔を上げて会話したりしているのが、あちらこちらでずっと見られました。

生徒たちの集中している様子がとても興味深かったので、上手に司会（ゲームマスター）をやっていた学級代表の生徒に聞いてみると、やっていたのは人狼ゲーム（村人の中に潜んでいる人狼を会話などで得た情報をもとに推理するゲーム）とのことでした。

ほとんど何の道具も使わず、メンバーの顔を真剣に見つめ問いかけながら推測している姿はまさに「遊びであり主体的・対話的で深い学び（何を学んでいたのかは皆様の推測に任せます）」でした。そして、先ほどの学級代表の生徒が、小学校時代に友達とこのゲームをはやらせた仕掛け人であると聞き、驚きはさらに増しました。

自分が関与していないプログラムと、モニターと音源に制限された視覚・聴覚情報によるゲーム全盛の時代に、目の前の生徒たちが真剣に、自分の五感と思考・直観をフルに使い、ライブ（生）に没頭し、それを楽しんでいる。しかもそれを生徒自身が仕掛けているのです。

私はその姿に感動させられると同時に、同じ生徒たちの授業での姿を思い起こし、冷や汗が流れました。「授業～業(わざ)を授ける～」という言葉は消費期限切れであり、「深く学ぶ」生徒たちの姿は「業の授け方」を改善する方向にはない、と考えざるをえませんでした。

「将来（高校・大学入試、就職、etc）役に立つ」「できないと将来大変（損、負け組、etc）」教員からしばしば聞かれる言葉ですが、三年生の生徒たちは、将来役に立つからとか、やらないと大変だからと脅されて、人狼ゲームをやっていたわけではありません。

自分の人生を振り返っても、学生時代に英語が非常に苦手だったことの悪影響（あまりなかった）より、その時に理科や社会・数学・文学・音楽などが好きだったことが、はるかに今の自分を形作り支えています。

AIを含む技術革新の激しい現代ならなおさらのこと、不確定な将来で生徒を脅すのではなく、あのゲームマスターのように『生徒たちが遊びの様に今（ライブ）に自分から没頭する学び』をコーディネートする、これこそが教師が、学校が“今”なすべきことだと考えます。

学校アンケート(平成30年度)の自由記述欄より

50人近くの留学生が来た9月28日(土)の国際交流デー、素晴らしかった10月24日(木)の音楽発表会など、紹介したい取り組みはたくさんあるのですが、学校アンケートの時期になりましたので、ここで昨年度の自由記述欄の内容と中瀬中学校としての考え方を紹介します。(文責 校長)

【1】「建て替えに措ける案を早めに提示してほしいです。(2年…現3年)」について。

杉並区より示されたスケジュールは「R2,3年に設計、R4,5年建築工事、R6年4月新校舎完成」です。区主催の準備委員会は、R2年度スタートで、新校舎の案はそれからのので、今は中瀬中学校区の地域教育連絡協議会などで皆さんの考えを集めている段階です。今年の学校アンケートもその一環です。

中瀬中学校として考えているのは「校舎改築を、単に躯体の改築ではなく、70年の伝統を踏まえ、100年先を視野に入れた中瀬中学校の次のステージを、生徒・保護者・地域で目指し、作っていく機会とする。」ということです。そのことを踏まえて進んでいきます。

【2】ルールに関して

校内で、セーターでの行動が可能になり学ランを着なくてよくなったりと変化しています。
学ラン着用は5年前の兄の時、閉鎖的なイメージで変なルールだな」と母親間でも話題になりました。このような変化を通じて中瀬の生徒は自主自立の行動ができるのだと感じています。(3年)

標準服の靴下を、行事などは白に統一で構わないので通常時は黒・紺も許可してほしい。(1年)

登下校時のセーター着用を必要に応じて許可してほしい。(2年)

「校内でのセーター姿での生活 OK」というルールは「お昼休みの体育館解放」とともに今の高2が発議し、高1の代の生徒会本部役員が、その理由や運用も含めて練り上げ、学級討議と中央委員会の討議を経て、最終的に校長が決裁したものです。

その際、時の本部役員会は「登下校など校舎外でセーターを着用する時は学ランやブレザーを上に着る」とし中央委員会で承認されました。「中瀬中が校外でだらしないと思われたくない、地域にあって良かったと思われる中瀬中でありたい」という意志が伝わってきます。

自治につながる主体的な取組であり、キーワードは『自己決定』できる資質の醸成です。そのためには、周囲の大人が生徒の欲求を満たす言わば「ドラえもん的存在」であってはいけない。生徒たちが自らどんな自分たちでありたいのか、どんな中瀬中であろうとするのかを話し合い、それに向け、責任をもって実現していくためのルールを、生徒たちが作ることが重要です。

すでに新生徒会はその方向に動き始めています。靴下や下着の色などについても、その生徒たちの動きを生かしていこうと考えています。



<生徒会役員選挙投票風景>

なお登下校時のセーター着用は、これまでも OK です。生徒たちが決めたルールは「登下校の際にセーターを着る時は、上に学ランやブレザーを着てくる」です。

【3】標準服に関して

制服はどうかと思います。学校として私服を指導していけば良いと思えます。(1年)

制服を一新するもしくは廃止する。(3年)

標準服については中瀬中の良いところに「制服があるところ(1年、2年、3年)」と3名の方が書いています。中瀬中の近隣の1分区の5校を見ると、中瀬中を含む3校が標準服で、杉並区内でもおおよそ半分です。ですから標準服という仕組みの正誤を問うのはあまり意味がないと言えます。

これも【2】のルールと同じで、これからの中瀬中と連動して考える課題だと考えます。校舎の改築は、標準服の再考にふさわしい機会です。標準服の一新を、標準服の廃止や現行の標準服も選択肢に、検討を進めていきます。

標準服一新の場合のスケジュール例 ～ R2年度に新標準服検討、R3 年度に発注、R4年度新入生より新標準服、新校舎での R6年度入学式に全員が新標準服 ～

【4】沓掛小学校との連携について

沓掛との連携が少ない。沓掛校区からの入学もとても増えているのに、中瀬中の情報が少ない。もちろん学校通信など年に1、2回くらいは見るが、情報が少なく、音楽の中瀬は全く浸透していない中瀬中と沓掛小でも「小中一貫教育」をもう少し強化してほしい。(1年)

杉並区の割り振りで、中瀬中の連携校は桃五小・八成小、沓掛小は天沼中・天沼小となっています。しかしご指摘の通り、近年の沓掛小卒業生の進路先人数で、天沼中と中瀬中はあまり差がありません。そして三年生の生徒会長をはじめ、沓掛小卒業生も大活躍しています。

教員間の交流は区の割り振りの関係で桃五・八成より少ないのは事実ですが、学校通信は、これまでも全号、桃五・八成・沓掛の6年生には配ってきました。さらに今年度は、これまで桃五・八成と行ってきた「挨拶運動」「ビオトープ委員会による杉並環境サミットに向けての環境チェックシ



<沓掛小学校六年生への出前授業>

ート」「図書委員会による小学校1年生への絵本の読み聞かせ」「陸上部による連合運動会に向けての小中合同練習」を沓掛小とも行い、児童生徒の連携を深めています。

また『中瀬言葉の検定』は天沼中前校長の藤川先生が、中瀬中校長であった時に始められた取り組みで、沓掛小でも行われている天沼中の『言霊百選』と内容が共通していることも紹介しておきます。

【5】教員に関して

中瀬中の良いところとして、65名の保護者の方から教員があがっていました。主な内容としては、「一生懸命・熱心・積極的でエネルギッシュ (13名)」「オープンで気さく、親しみやすく親身になって話を聞いてくれる (12名)」「生徒・保護者との距離が近く、仲良く一緒に楽しんでいる (10名)」「専門的で質が高い教員が多く充実している (5名)」「先生方が穏やかでのんびりしており、明るく仲良く一丸となっている (4名)」また

「先生たちが必ず挨拶してくれる (1年)」「愛情をもって生徒に接している (1年)」「積極的に生徒に声をかけている (1年)」「クラスを良くしようとしている (2年)」「担任に限らず、親も子も話を聞いていただける先生がいる (3年)」「フットワークが軽く、学校と家庭の情報共有をしっかりとってくれる (3年)」「先生方が生徒達をよく見ており、ほめたり、そういうことを忘れずに言ってくれる (3年)」という声もありました。一方、下記のようなご指摘もありました。

<p>テストの結果や、英検・漢検の結果を生徒に返す時、周囲に分かる様な言い回しをする先生がいます。デリケートな事なので、良くても悪くても静かに返して頂くか離れた所での返却をしていただく等の配慮をお願いしたいです。(2年)</p>	<p>ごく一部の先生ですが、思い込みが激しく子供たちの意見に耳を傾けてくれない時があると聞きます。先生の気分が左右されることもある様で、戸惑うこともある様です。なぜそう思ったのかという部分にも耳を傾け、結果や目に見えている表面的な部分だけでその子を判断することは控えていただきたいと思えます。(3年)</p>	<p>他の先生の悪口を子どもに話す事、また、これを保護者に話さないで」と口止めすることは、子どもの心に大変な負担を強いられます。先生方の事情で子どもの心を振り回すのは是非とも止めていただきたいです。(2年)</p>	<p>塾についてなど、自分の方針をとっても強く主張する先生がいます。アドバイスはありがたいですが、受け取ったあとどう判断するかは家庭に任せたいと思います。言った通りにしていれば今頃〇〇さんみたいになったのに」など言われ続ける子どもが可愛そうです。(2年)</p>	<p>子どもたちの前で先生同士が注意したりするのは、生徒の見ていない時間・場所にしてほしいと思えます。(2年)</p>
--	--	---	---	---

教員に関してだけでなくいただいたご指摘に関しては、学校運営協議会 (CS) で検討を行い、今年1月の教員とCSの合同研修会を行い話し合い、改善が必要な事項については話し合いを行いました。

なお「優秀な教員は中瀬中にずっといてほしい」という旨の声も複数ありました。中瀬中生のことを考えればもっともな思いです。しかし本校の教員は東京都の教員であり、人事異動については東京都教育委員会の専決事項で、現在の仕組みでは教員は(産育休や定年に近いなどの例外はありますが)基本的には3年から6, 7年で次の学校に異動することになっています。

教員自身の資質の向上や、東京都全体の子供たちの成長に貢献することも、東京都の教員としての責務であることをご理解いただければ幸いです。

【6】授業に関して

授業については「先生方が授業・部活に熱心(1年)」「先生方が各教科専門的な授業をしていただいている、又、個別にも声を掛けていただいているととても良い。(1年)」「塾ありきの授業ではなくて、きちんと生徒に教えてくれようとしている。特に英語。(1年)」「スピード感を持ち子どもに伝わり、かつ意識的に取り組むよう熱意をもち指導している英語が良い。(1年)」「英語の指導方法が革新的で、優れていると思います。“英語の中瀬”と近所でも言われています。(1年)」「ICT機器を活用し授業を行っている。(2年)」「英語の先生で個性的で熱心な先生がいる。(3年)」



<道徳研究授業(1D)>

などの声をいただきました。(英語についてはここ2年間で、本校の英語科3名のうち2名が東京都の長期海外研修、残り1名が文部科学省の中央研修を履修していることも紹介させていただきます。)

一方「学習に関して、先生によって指導の熱心さに差がある様に思う。生徒の興味を引くような授業や課題の出し方など工夫してほしい。(2年)」「水泳の指導が不適切(2年)」「英語など勉強ができない生徒の学力を底上げするような基礎を取りこぼすことのない授業を心掛けてほしい。苦手意識を作る様な指導はやめてほしい。(3年)」「数学など授業の遅れが気になる。塾に頼っているところがあるので、授業に力を入れて欲しい。(2年)」などのご意見もいただきました。ありがとうございます。直接またはPTA役員を通じて内容を伝えていただけると、よりスムーズな対応を行えるかとおもいますので、よろしく願いいたします。

授業自体には満足しているが、習熟度の差をどう考えているか、学力の差をどう対応するか。また、塾の活用状況を把握したらどうかと思う。(3年)

習熟度の差に対しては、近隣の学校では少人数授業の展開で対応しているケースもあります。中瀬中でも5年前までは理科の少人数授業を行っていました。しかし、生徒数の増加による教室確保、時間割作成などの課題を見据え、少人数授業をやめましたが、結果として理科の得点力の下降は見られませんでした。

重要なのは巻頭言にも書きましたが『生徒たちが真剣に、自分の五感と思考・直観をフルに使い、ライブ(生)に没頭しそれを楽しみとしている学び』を、中瀬中で進めていくことだと考えています。なお塾の利用については、区の調査で1年57%(55%)、2年65%(64%)、3年79%(79%)です。カッコ内が杉並区の平均です。

なお「土曜授業に勉強も加えて欲しい。(1年)」ですが、地域・保護者の皆様の協力で行われている中瀬検定を例にとれば、検定の1時間以外は通常の授業を実施しています。



<幼稚園実習での出し物(3年)>

次号で「生徒」「いじめ・不登校」「行事」「部活動」「進路指導」「学校公開」と「学校の方向性」に関わるご意見を紹介します。

その前に「いつもオープンに学校のドアが開いていて、セキュリティ的には大丈夫なのかを感じる事がある。(2年)」についてお答えします。登校後に北門と東門は閉じ、下校時に開けます。ただ給食や業者の駐車場の門は開いているので、これは新校舎設計時の課題です。

同様に、「体育館の空調設備を整えて欲しい(2,3年)」についても、区の計画では新校舎で対応となっていることをお知らせします。